

愛知県議会議員 高橋 正子

高橋正子県政報告

2012年

7月号

お茶の間
PRESS プレス

ご家族の皆さままでご覧ください。

皆様の声を
県政に届けます！料金後納
郵便

ゆうメール

■編集/発行 高橋正子事務所

〒491-0044 一宮市大宮 1-3-6 グランドメゾン大宮 1F
TEL(0586)71-2900 FAX(0586)71-5380

〈4面〉後援会だより

*** 平成24年度 ***

民主党愛知県議員団幹事長に就任しました

議会改革をはじめとする「変革」と「現場主義」で、透明で活力ある議会を！



●災害廃棄物入を巡る問題で、大村知事に提言する新五役

左から：黒川節男副団長（海部郡選出）、長江正成総務会長（瀬戸市選出）
柏熊光代団長（豊橋市選出）、大村愛知県知事、高橋正子幹事長
（一宮市選出）、谷口ともみ政務調査会長（名古屋市長選出）

地域主権が加速する中で、二代表制である地方議会の役割・責任は大きくなってきています。私たちは、知事（執行機関）のチェック（監視）機能強化はもちろんのこと、政策立案能力の向上を目指して議員個々が切磋琢磨していくことが、二代表制の一翼を担うことだと考えます。

私たちの本来の主な役割は、県民の意思を把握し、議会活動などを通じて適切に地方自治体の運営に反映させることとあります。それには議員自らが現地向かい、県民目線＝「現場を見る、現場の声を聞く」という徹底した『現場主義』が必要であり、自身が見聞きした中から生まれる問題意識と課題について、その対処法とともに真に県民本位の政策提言ができるよう、透明で活力と責任ある議会を目指します。

高橋正子

平成24年度
高橋正子の所属委員会常任委員会／総務県民委員会
特別委員会／安心・安全対策特別委員会
議員定数等調査特別委員会

予告

9月定例愛知県議会

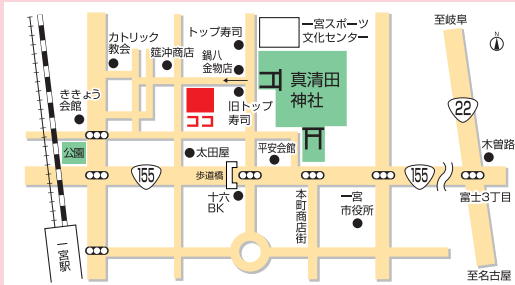
高橋正子「代表質問」登壇

とき：9月25日（火）13:00～

プロフィール

- 昭和33年11月 一宮市大宮3丁目に生まれる
- 昭和57年3月 愛知学院大学法学部法律学科卒業
- 昭和57年4月 (株)一宮タイムス社(日刊紙)編集部入社
- 昭和63年8月 一宮タウン情報誌「エッグ」を創刊
- 平成12年2月 (有)お茶の間通信社を設立。現在、代表取締役
- 平成15年4月 愛知県議会議員に初当選
- 平成19年4月 愛知県議会議員に二期目の当選
- 平成23年4月 愛知県議会議員に三期目の当選

事務所のご案内

〒491-0044
一宮市大宮 1-3-6
グランドメゾン大宮 1F
TEL(0586)71-2900
FAX(0586)71-5380

《真清田神社から西へ徒歩1分》

http://www.masakonet.info E-mail 138@masakonet.info

出前講座も承り中!
お気軽にどうぞ!一宮タウン情報誌「エッグ」
編集長としても活躍中!

7月5日に閉会
【6月定例愛知県議会】

しかし、知事は「再議」を申し立て、
7月14日土曜日に「臨時議会」を招集！

補正予算案に対し、 55年ぶりの修正動議可決！

震災がれき受入関連予算



県は6月定例議会に、愛知県の災害廃棄物受入計画で、住民説明会や被災地見学会の開催費、市町村に依頼した試験焼却費など震災廃棄物受入の関連費7000万円を補正予算案に盛り込んでいた。しかし、可燃性の災害廃棄物総量が大幅に減少の方向で見直されたこともあり、知事は「焼却炉建設断念」を6月議会途中で表明。これを受けて最大会派の自民党県議団が「焼却炉の新設中止で受入計画が変わったので、予算の中身も変えるべきだ」と主張し、「住民説明会などは見直した計画の全体像を議会に示してから行なうべきだ」と住民説明会の開催費など1450万円を削除する修正動議を提出。

7月5日の閉会日では、自民党側の「あらためて計画を練

り直すべき」との主張に対し、民主党・公明党・減税日本一愛知は「計画がかわっても説明会の予算を削ってはならない」と修正案に対する質疑などが行われ、採決の結果、賛成52票(自民党、無所属)、反対50票(民主党、公明党、減税日本一愛知)と県原案を認めず、自民党の修正案を可決して6月定例県議会を閉会した。

ところが、大村知事はこれを不服として、県の最初の予算案(原案)を認めてもらうために臨時議会を開き、もう一度審議する「再議」を申し立て、7月14日の土曜日に臨時議会を招集。再議の場合、自民党修正案の可決には3分の2以上の賛成が必要だが、民主党・公明党・減税日本一愛知が反対であったことから否決。県側の原案が採択された。

7月5日
6月定例議会での
補正予算修正案に対して、
「災害廃棄物受入の今後について」
提案者(自民党)に
質問する高橋正子



- 三市の受入候補地自体、あらためて見直す必要がある…との提案者の考えは、本県の災害廃棄物受入を大きく後退させることになりはしないか!? 改めて見直す必要があると考える提案者の見解と提案者の考える候補地の条件について質問。
- 8月から予定される住民説明会のゆくえはどうなるのか? 災害廃棄物受入の今後について、提案者と県当局に影響も含めて質問。

県政NEWS



愛知県が県内60の歩道橋命名権を販売！
一宮市内の対象歩道橋は4か所！

愛知県では、県が管理する歩道橋の命名権「ネーミングライツ」を売り出し、新たな財源確保をして歩道橋などの道路施設の管理費に役立てる。県内の交通量の多い歩道橋60か所が対象。ネーミングライツ料は年間20万円以上で契約期間は3年以上を条件に入札してもらい、落札者には歩道橋の橋げたに企業名や商品名、愛称などを標示できる。

一宮市内のネーミング
ライツ対象歩道橋は4か
所(大宮4丁目、松降2丁
目、羽衣1丁目の県道大
垣一宮線、国道155号
の大和町刈安賀)



6月定例議会の主な審議内容

民主党代表質問／
長江正成総務会長

〈一部抜粋〉

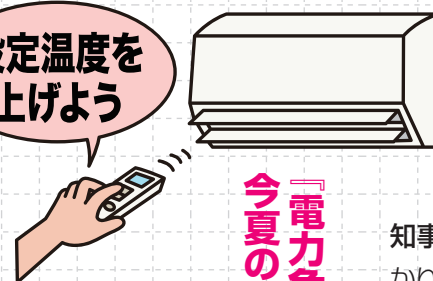
Q 震災被災地の一日も早い復興に向け、がれきなど災害廃棄物の広域処理は必要だが、県民の理解と協力は欠かせない。県はどのような施設建設や処理計画を進めているのか? 試験焼却についての考え方は?



知事 愛知県内の三か所(知多市・碧南市・田原市)で仮置き場、焼却炉、最終処分場の検討調査を進めているが、焼却炉は設置しない方向。被災地のニーズや諸条件を的確に踏まえた処理計画としたい。最終処分場を設置する場合は、国が予算措置すべきと考えている。試験焼却は、本格的な受入を前提とせず、県民理解のための取組と考えている。

県は焼却炉建設は断念したものの、仮置き場と最終処分場の整備計画については継続し、不燃物と被災地で焼いた災害廃棄物の焼却灰を積極的に受入れる方針を示している。そして8月までには災害廃棄物の種類や搬出する被災地などの具体像を明らかにする予定。

設定温度を
上げよう



『電力危機』への対応について、
今夏の愛知県での節電対策は?

Q 浜岡原発の停止により、この夏の電力需給も非常に厳しい。愛知県として、今後の省エネ・節電をどう進めるのか? また再生可能エネルギーへ、シフトする計画はどのようなものか?

知事 昨年は自動車業界で土日操業を行なうなど大掛かりな節電が行われた。しかし今年は我慢する節電ではなく、電力を賢く使う「スマートユース」の考えに基づいて節電に取り組んでいく。県としては5%の省エネ・節電に取り組むが、県民に数値目標を課すのではなく、午後1時～4時のピーク時のカットを念頭においてスマートユースを心掛けてほしい。また、長続きする省エネ社会づくりも県民に呼びかけていき、今年2月の「あいち地球温暖化防止戦略2020」で、固定価格買取制度を活用した太陽光発電の導入拡大をはじめ、小水力発電など多様な分散型エネルギーの実現を目指す。

現場の声を聞く



議会・議員の見える化行動計画
「出前議会」にもチャレンジ!

とかく県政や県議会は県民の皆さんにとっては遠い存在だと聞きます。議会・議員の見える化行動計画として、定例県議会後の街頭県政報告会に加え、今年度、わが団として「出前議会」を定例議会ごとに県内各地へ出向き、開催したいと考えています。7月9日の夕方6時から、瀬戸市と春日井市で今年度、最初の「出前議会～お寺で開く気軽な県政報告会～」を開催。大好評でした!!

今回の9月議会閉会後は、私の地元「一宮」で出前議会を開催する予定です。会場として場所を提供して頂けるところがあれば高橋正子事務所までご一報ください。

